

[症例概要]

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用								
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置								
1	男 60代	切除不能な 局所再発頭 頸部癌 (メニエール 病)	23,700mg 1回	<p>咽頭浮腫、気道閉塞</p> <p>原疾患：切除不能な局所再発頭頸部癌（扁平上皮癌）（原発部位：下咽頭，再発部位：右頸部リンパ節，Stage：IV A，TNM分類：T0N3bM0）</p> <p>約3年前 初発時にシスプラチン，X線照射，左頸部郭清術の治療歴あり。</p> <p>約7カ月前 再発時，ニボルマブを投与。</p> <p>投与29日前 バクリタキセル，セツキシマブを最終投与。</p> <p>投与開始日 本剤23,700mg(1回)を投与。ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)を施行。ハイドレーション実施，耳下腺炎を認めた。</p> <p>投与終了日 (投与終了日)</p> <p>投与1日後 高アミラーゼ血症，咽頭浮腫，嘔気，食欲低下を認め，デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム，デキサメタゾンを投与した。</p> <p>(発現日)</p> <p>投与2日後 嘔気および食欲低下は回復した。</p> <p>投与3日後 咽頭浮腫は回復した。</p> <p>投与4日後 高アミラーゼ血症は軽快，耳下腺炎は回復した。</p> <p>投与49日後 嚥下障害，気道狭窄，誤嚥性肺炎を認めた。経鼻胃管および</p> <p>(発現日) 気管切開施行。</p> <p>投与98日後 嚥下障害，気道狭窄および誤嚥性肺炎は未回復。</p>								
<p>臨床検査値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>投与1日前</th> <th>投与1日後</th> <th>投与4日後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>血清アミラーゼ (U/L)</td> <td>66</td> <td>1728</td> <td>184</td> </tr> </tbody> </table>						投与1日前	投与1日後	投与4日後	血清アミラーゼ (U/L)	66	1728	184
	投与1日前	投与1日後	投与4日後									
血清アミラーゼ (U/L)	66	1728	184									
<p>併用薬：なし 備考：企業報告</p>												